

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人しあわせの郷

令和7年度 社会福祉法人しあわせの郷 事業報告

経営理念と基本方針

経営理念

「地域のお年寄りの方が生きがいを持って、安心して暮らすことのできる
地域に開かれた施設づくりを通じ、役職員が一丸となって介護を要する人のため
に、より良いサービスを提供します。」

基本方針

- ・利用者の人権と個性を尊重し、心のこもった介護で豊かな暮らしを支えます
- ・地域との連携を大切にして信頼される施設づくりに努め、地域福祉に貢献します
- ・職員の育成指導並びに福利厚生の実施を図り、安心して働ける環境づくりに努めます
- ・健全かつ活力のある経営に努め、安定した施設運営を目指します

運営方針

- 「しあわせの郷スタンダード」を構築する。
- ・地域のより多くの方にご利用いただくため稼働率を高水準で安定させる。
 - ・IT化の推進と規程やルールを再整備し、職員の働きやすさを追求する。
 - ・業務改善により安定した質の向上と効率的運営を行う。

1、事業概要

①法人の概要

主たる事務所の所在地	電話番号	代表者氏名
岡山県備前市三石2791-1	0869-62-2717	徳永 憲威
事業開始年月日		設立登記年月日
平成 14 年 4 月 1 日		平成 12 年 10 月12日

②法人の行う事業

社会福祉事業	施 設 種 別	名 称	定 員
第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 深谷荘	70 名
		地域密着型 特別養護老人ホーム深谷荘	20 名
第 2 種社会福祉事業	短期入所生活介護	ショートステイ深谷荘	6 名
		ショートステイ深谷荘(ユニット)	空床利用型
	地域密着型通所介護	デイサービスセンターバンビ	18名
公益事業	居宅介護支援事業所	深谷荘居宅介護支援事業所	—

③登記の状況

登記事項	登記年月日
1 資産の総額 金5億7014万1562円	令和7年6月27日
(役員に関する事項) 兵庫県たつの市揖保町門前369番地1 理事長 徳永 憲威	令和7年6月27日

2、理事会開催状況

開 催 年月日	出席者 ／定数	議 案	欠席者氏名	出席監事名
第 1 回 令和 7 年 6 月 6 日	4／6	審議事項 第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 6 年度 決算報告ならびに監事監査報告について 第 3 号議案 就業規則（準職員）規程（案）改定について 第 4 号議案 次期理事・監事候補者の選任について 第 5 号議案 次期評議員選任・解任委員の選任について 第 6 号議案 次期評議員候補者の推薦について 第 7 号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第 8 号議案 評議員会の日時、場所、議案等について 第 9 号議案 第 2 回理事会の開催について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	瀬戸 雅嗣 山形 明 書面表決	立川 茂 西丸 将史
第 2 回 令和 7 年 6 月 21 日	5／6	審議事項 第 1 号議案 理事長の選任について	松尾 太郎 書面決議	立川 茂 西丸 将史
第 3 回 令和年 7 9 月 26 日 みなし決議	6／6	審議事項 第 1 号議案 育児休業に関する規程の改定（案）について	同意書	確認書
第 4 回 令和 7 年 12 月 12 日	4／6	審議事項 第 1 号議案 定款改程（案）について 第 2 号議案 就業規則（常勤職員）改定（案）について 第 3 号議案 就業規則（準勤職員）改定（案）について 第 4 号議案 令和 7 年度 第一次補正予算（案）について 第 5 号議案 評議員会の日時、場所、議案等について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	瀬戸 雅嗣 松尾 太郎 書面表決	立川 茂 西丸 将史
第 5 回 令和 7 年 3 月 13 日	5／6	第 1 号議案 令和 7 年度第二次補正予算（案）について 第 2 号議案 役員報酬規程改定（案）について 第 3 号議案 令和 8 年度 事業計画（案）について 第 4 号議案 令和 8 年度 当初予算（案）について 第 5 号議案 評議員選任・解任委員会の開催（案）について 第 6 号議案 評議員会の日時、場所、議案等について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	松尾 太郎 書面表決	立川 茂 西丸 将史

3、評議員会開催状況

開催 年月日	出席者 ／定数	議 案	欠席者氏名	出席監事名
第 1 回 令和 7 年 6 月 21 日	7 / 8	第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告について 第 2 号議案 令和 6 年度 決算報告ならびに監事監査報告について 第 3 号議案 理事の選任について 第 4 号議案 監事の選任について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	坂越 大輔 書面決議	立川 茂 西丸将史
第 2 回 令和 7 年 12 月 20 日	6 / 7	第 1 号議案 定款改程（案）について 第 2 号議案 令和 7 年度第一次補正予算（案）について 第 3 号議案 役員等報酬規程改定（案）について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	天野 尊明 書面表決	立川 茂 西丸将史
第 4 回 令和 8 年 3 月 21 日	5 / 7	第 1 号議案 令和 7 年度第二次補正予算（案）について 第 2 号議案 役員等報酬規程改定（案）について 第 3 号議案 令和 8 年度 事業計画について 第 4 号議案 令和 8 年度 当初予算について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	天野 尊明 森岡 豊 書面表決	立川 茂 西丸将史

4、令和 7 年度事業運営の概要

収入面については法人全体で令和 6 年度 456,590 千円から令和 7 年度は 485,460 千円となり 28,870 千円増加した。

特養部門では健全な収益構造を構築するため利用率の確保を継続的に行うと共に、ウイルス感染の初動対応強化の効果もあり感染症によるリスクを減少させ、全体の稼働率が上昇した。又、入院者による空床を利用したショートステイ利用者の確保により入所関係全体で年間平均 97.4%と高稼働で維持できた。

デイサービス部門では新規利用者確保、取組み内容の周知に努めた結果、年間の平均利用が 96% 1 日平均 17.1 名となり、開設以来の好調なご利用状況となっている。地域の方に多く利用していただく特色のある運営「備前モデル」の成果による知名度アップと、認知症対応向上による結果を出すことができた。

地域の方に安心・安全で快適な生活の場を提供する事を積み重ねた結果、年度目標である効率的な運営、組織力強化と共に職員に向けての研修による成果として「深谷荘スタンダード」を具現化した初年度であった。

結果として全事業が高い水準で稼働しており、次年度の見通しが明るい状況となっている

反面、人件費、物価高、光熱費の上昇等の逆風要因がある中、何とか収益を確保できている。

人材確保については介護職員が令和7年4月から12月にかけて徐々に減少し、事務系専門職総出で介護現場の応援を行った。令和8年1月から3月にかけて介護職の補充と相談員業務の基盤強化として1名の増員を行った。加えて組織体制についても特別養護老人ホームのサブリーダー層の再構築を行い次年度に向けて組織の基盤固めを行った。

デイサービスについては管理者をリーダーより登用し、独立して運営できるように体制変更を行った。

採用状況については日本人の介護職員の確保が難しいが、介護職を直接雇用2名、紹介業者ルートで3名を雇用できている。外国人材に関してはフィリピンから特定技能1号として召喚し、令和7年6月に2名、令和8年2月に2名を採用し計9名となっている。ベトナム人材については介護福祉士2名が就労を継続している。

職員研修についてはオンライン動画研修を基本として昨年度より項目や内容を強化した。又、外国人材を含む全体の受講者が増加し8割の職員が受講することができた。職員が共通認識や定期的な技術の振返りが報告書から確認できている。

5、法人全体としての取り組み

① 職員間の情報共有の強化を目的としたPCの全数入替え

施設内ネットワーク強化のためPC入替えと無線LANの再構築を行い、情報伝達の効率化とPC台数増加による業務環境の改善を行った。

② 一階浴室、特殊浴室の美観改善リフォーム

一般浴室についてはタイル剥がれ、脱衣室床の劣化により美観を回復するための工事を行った。特殊浴室については脱衣場の床剥がれにより環境が悪化しているため、張替え工事を行った。

③ デイサービスの質の向上に向けた取り組み

- ・認知症予防に「大人の学校」を継続的に実施。
すべての職員が「先生」となって運営している。
- ・在宅生活の継続支援としてご希望の方に朝食、夕食の提供。
特に夕食提供の希望が増えてきており、独居の高齢者の在宅生活の継続に寄与している。
- ・上記に加え、ご希望内容による個別機能訓練と集団体操の継続により安定して利用していただけるプログラムを実施している。
- ・認知症対応強化に向けた職員向け勉強会を毎月実施し、対応力を強化している。

④ 外国人材の継続的な獲得

フィリピン本国から召還する方法で特定技能1号の介護人材9名が就労しており本年度は4名を獲得した、計9名中すでに4名は夜勤を含むすべての業務が可能となり介護

現場の戦力として活躍している。

ベトナム人材の介護福祉士1名は就労中、1名は出産後復帰、就労を継続している。
今後、介護現場をけん引する存在として業務に奮闘している。

⑤ フードバンクの取り組み

備前市内の社会福祉法人と共同で「ささえあい福祉ネットワーク備前」を立ち上げ、生活困窮者に施設の備蓄食料の無償提供を行い、必要に応じて困りごとの相談ができる活動を継続している。

6、委員会活動

① 内部統制・コンプライアンス委員会

各事業の運営状況を定期的に自主点検し、適正運営の確認を行い適正運営に向けて再認識した。ハラスメント対策についてはリーダー職以上が常時監視し、傾向に基づいて研修に生かした。

② 虐待防止委員会

毎月の虐待防止アンケート、役職員が参加する会議からの情報収集により対策を検討し、傾向に基づいて研修に連動するように取り組んでいる。不適切ケアの認識を高め、虐待につながりかねない状況を未然に対策を行うことで、介護職員の不適切ケアの認識が向上している。

③ 感染予防対策委員会

毎月の全体会議時に感染症情報の共有と施設での方針や対策を検討している。
継続して標準予防策の履行と衛生管理の強化を行い、初動対応ができるよう強化した。

④ 事故防止委員会

毎月各部門の担当者とヒヤリハット、事故の対策と施設の方針を検討している。目に見えて事故件数は減少していないものの、業務改善に向けた取り組みを確認し、改善を行う視点が醸成されている。

⑤ 食生活委員会

生活に合わせた食事提供について随時委託業者を含めた検討を行っている。
又、日々の食事提供前の検食の感想に対して委託業者の改善につながるよう利用者に喜ばれる食事提供、薄味提供を行った。

⑥ 研修委員会

前年度の研修に基づいて体系化しているため、開催頻度は少なかったものの、研修を受

講する職員割合は8割程度に増加している。研修受講割合を高めることで共通認識をもち、その評価を研修記録や委員会等で把握することで研修内容の評価をしつつ、その年の傾向に合致した研修内容を行った。

○法人内研修実施内容

実施月	研修内容	概要	実施方法	参加人数
4 月	虐待防止・不適切ケア防止研修	虐待に繋がりにかねない不適切なケアに気づく、虐待の分類、防止策について	動画研修	40 名
4 月	手洗い研修	感染症防止の基礎として手洗い評価を実施	実技	36 名
5 月	認知症研修	認知症の理解と適切対応	動画研修	40 名
6 月	感染症防止研修	感染予防策について	動画研修	42 名
6 月	BCP 訓練研修	BCP に関する備蓄品について 役職者向け	訓練・研修	8 名
7 月	事故防止研修	事故防止策と適切な対応について	動画研修	32 名
8 月	身体拘束廃止研修	身体拘束の基本的考え方について	動画研修	36 名
9 月	医療的ケア研修	医療的ケアの理解について	動画研修	46 名
10 月	不適切ケア研修	不適切ケアへの気づきについて	動画研修	44 名
10 月	個人情報研修	個人情報の定義と漏洩について	動画研修	44 名
11 月	接遇研修	接遇の基本について	動画研修	42 名
11 月	BCP 研修	災害・感染発生時の初動対応について	動画研修	42 名
11 月	BCP 訓練	災害・感染時の非常対応について	訓練・研修	6 名
12 月	感染症防止研修	感染症防止の基本	動画研修	45 名
12 月	リスクマネジメント研修	事故防止のためのリスクマネジメントについて	動画研修	41 名
1 月	尊厳の保持	認知症対応における尊厳の保持について	動画研修	45 名
1 月	コンプライアンス研修	法蓮順守の重要性について	動画研修	45 名
2 月	褥瘡予防研修	褥瘡予防の基礎的理解について	動画研修	50 名
2 月	入浴ケア研修	入浴ケアの正しい方法について	動画研修	50 名
3 月	感染防止研修	インフルエンザ・ノロウイルスについて	動画研修	51 名
3 月	リーダー研修	チームで取り組むということの意味について	動画研修	10 名

7、感染症対策

基本的な感染対策を継続しマスク着用も継続している。

- ①全職員を対象とした出勤前、出勤後の検温、健康チェック
- ②マスクの着用と手洗いの励行

- ③感染症マニュアルを中心とした基本研修の実施
- ④感染疑い時の初動対応の徹底
- ⑤事業継続計画に基づいた研修・訓練計画の実施

8、防災計画

- ①自然災害発生時の事業継続計画（BCP）の策定と訓練
- ②非常時の飲料水・備蓄食料3日分の確保と管理方法の整備
委託業者が日常的に使用する米・食料を3日分備蓄している。
- ③非常電源の確保
ユニット型特養の非常電源として3日以上容量があるガス発電機の管理。

以上